

星空 観望会

毎週土曜日 午後7時～9時
場所：西合志図書館天文台
参加費無料
※雨天・曇天の場合中止します。
天候が優れないときは、来館前
に電話で確認ください。

☆自宅で観る1月の星空☆

明け方、東南の空に**土星**が昇ってきました。
日が落ちると東南の空低くに、**全天**で一番明
るい星**おいぬ座のシリウス**が望めます。
その上に赤みがかった**オリオン座のベテル
ギウス**と、東側に**こいぬ座のプロキオン**を見
つけてみましょう。これが**冬の大きな三角形**です。
20日の夕方、日没後西南西の空低くに、**金
星**と細い**月**を同時に見ることができます。

図書館掲示板

★西合志図書館 (☎242-5555)

♪マインドシアター(入場無料)♪

と き 1月27日(土) 午後1時～
ところ 「西合志図書館集会室」
題 名 『長くつ下のピッピ』

♪おはなし会(入場無料)♪

と き 毎週土・日曜日 午後2時～
1月6・7・13・14・20・21・28日
2月3・4・10・11日
ところ 西合志図書館「おはなしの部屋」



★合志図書館 (☎248-5754)

♪ふれあい映写会(入場無料)♪

と き 1月21日(日) 午後1時30分～
ところ 「多目的研修室」合志図書館よこ
題 名 『白雪姫』

♪ふれあいおはなし会(入場無料)♪

と き 毎週土曜日 午後2時30分～
1月6・13・20・27日
2月3・10・17・24日
ところ 合志図書館「おはなしコーナー」

☆ふれあい読書講座を開催します(第1回)☆

と き 1月17日(水) 午後2時から
ところ 合志市総合センター“ヴィーブル”2階
講 師 星永文夫氏(俳誌「霏霏」主宰)
題 名 宮本 輝作 『泥の河』
参加費 無料
申し込み・問い合わせ先
合志図書館 (☎248-5754)
講師の話しに泣いたり、笑ったり、感動に包まれるあ
っという間の90分です。多数の参加をお待ちしています。

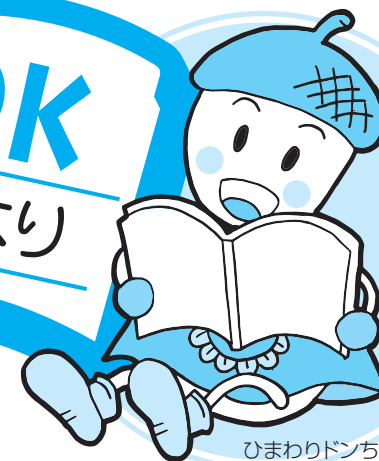
1・2月の休館日

1月9日(火)・15日(月)・22日(月)・29日(月)・31日(水)
2月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)・28日(水)

移動図書館車 「ひまわり ドンちゃん号」巡回

現在、合生・須屋・野々島・上生を巡
回しています。年間巡回予定表は西合志
図書館・移動図書館車にあります。

BOOK 図書館だより



ひまわりドンちゃん

西合志図書館 (☎242-5555)
合志図書館 (☎248-5754)

『螺鈿迷宮』 海堂 尊 著

特異な世界に個性的な登
場人物。医学界を舞台にし
たドラマ、漫画が流行っ
ていますが、本書は現役医師
による医学ミステリーの人
気シリーズ最新刊です。

強烈なキャラクターが魅
力の本書ですが、新キャラ
も登場しパワーアップ！

今回は終末期医療がテーマ。
笑えて考えさせられるエン
ターテインメント！



『大型版 だいじょうぶ だいじょうぶ』(絵本)

いとう ひろし 作・絵

いろんなことに押しつぶ
されそうになるボクに、大
好きなお爺ちゃんがいつも
かけてくれた言葉「だいじ
ょうぶ」。この言葉に救われ、
ちょっぴり成長したボクは…。

95年の出版以来、多くの
共感を呼んだ小さな絵本が
大きな版で再販されました。

こんな時代だからこそ、
大人にも子どもにも、ぜひ
読んでもらいたい一冊です。



新刊お
薦め本

新 着 本

一般書

『風林火山 一 風の巻』 大森寿美男
『失われた町』 三崎 亜記
『老いるということ』 黒井 千次
『男の更年期』 柏瀬 宏隆・岩本 晃明
『さよなら、サイレント・ネイビー』 伊東 乾
『自分で採れる薬になる植物図鑑』
『表の顔と裏の顔』 幸田 真音
『着物地で作るおしゃれな小物』 成美堂出版
『Kの日々』 大沢 在昌
『孫子の兵法』 森 哲郎
『美丘』 石田 衣良
『養老院より大学院』 内館 牧子

児童書

『うみのほん たべものリレー』 まつざわ せいじ
『天と地の守り人 第一部』 上橋菜穂子
『銃声のやんだ朝に』 ジェイムス・リオードン
『百枚のドレス』 エレナー・エスティス
『子リスのアール』(絵本) ドン・フリーマン
『やまんばと三人きょうだい』(紙芝居)
『気まぐれな犯罪者』 赤川 次郎
『ライオンを探せ！』 アイリーン・トリンプル
『羽生善治夢と、自信と。』 椎名 龍一
『おんどりとえんどうまめ』(絵本) 宮川やすえ
『ちいさなもみのき』(絵本) ファビエンヌ・ムニエ
『ちょうちょホテル』(絵本) 松谷みよ子

『完訳 ファーブル昆虫記』 ジャン=アンリ・ファーブル 著 奥本大三郎 著

現在刊行中のこの本は、訳者が、無
類の虫好きとして知られる仏文学者、
奥本大三郎ということでも話題になった。
解りやすい訳と豊富なイラストによ
って、たとえ虫好きでなくとも、ファ
ーブルが導く昆虫の不思議ワールドを
十分愉しむことができる。

そして何よりありがたいことに、フ

アーブルの比類なき忍耐力と根気に支
えられた実験や観察のおかげで、私た
ちは何の苦労もなしに、彼が費やした
膨大な時間を飛び越えて、彼が味わっ
た発見の喜びを迫体験することができるのだ。

さあ、ファーブルとともに「事実が
語る」ことに耳をすませてみよう。



今
旬
の本